



プログラム (行事コード:24804) : 平成 30 年 10 月 26 日(金)

『施工計画講習会「施工計画のポイントと ICT の動向」』

<p>主催 : (公社)土木学会 (担当:構造工学委員会・継続教育小委員会)</p> <p>開催日 : 平成 30 年 10 月 26 日(金)</p> <p>場所 : 土木学会「土木会館」2F「講堂」 新宿区四谷 1 丁目無番地 外濠公園内 JR 中央線「四ツ谷駅」下車、徒歩 3 分</p> <p>定員 : 100 名</p> <p>CPD単位: 7.0 単位</p> <p>参加費 : 会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生 2,000 円 (当日申込 会員 6,000 円、非会員 7,000 円、学生 3,000 円)</p>	<p>テキスト : 講演概要を事前に web で配布します。各自で小委員会ホームページよりダウンロードしてご持参下さい</p> <p>申込方法: 土木学会ホームページよりお申し込み下さい。受付後、「参加券」および「事前 Web 配布案内」をお送りいたします。「事前 Web 配布案内」郵送後のキャンセルは承れませんのでご注意下さい。</p> <p>学会HPの URL http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp</p> <p>申込締切 : 平成 30 年 10 月 19 日(金)(定員に余裕がある場合には当日会場で受付します)</p>
--	--

【講習会の内容】

近年の社会・経済の情勢から、構造物の建設に際して「構造物の品質を確保し、安全で経済的な」施工を行うことが求められています。そのためには、地盤をはじめとする現場の状況を十分に把握し、当該位置に沿った施工計画を行うことが重要ですが、未だ大部分を現場技術者の経験に頼って計画されているのが現状となっており、これまで得られた経験・技術を継承し、総合的見地から公共的諸課題を解決し、社会に貢献する必要があります。

一方、コンピューターや通信技術などの情報化分野で急速な技術革新が進んでおり、建設産業でもこれらの情報通信技術 (ICT (Information and Communication Technology) という) を活用した合理的な生産システムの導入・普及の促進により、技術集約的産業へ、そしてより魅力的な産業へと変革していくことが期待されています。

本講習会では、技術者が適切に各々の施工位置に則した施工計画を行えるよう、実務で陥りやすいミスや注意点を交え、地盤の基礎知識、土留め工の計画と施工について解説します。また、昨今の情報通信技術の活用例を、最新の事例とともに紹介し、維持管理への活用や実際直面している課題、目指すべき方向について解説します。

9:00~ 9:10	本講習会の概要	継続教育小委員会委員長	中村 一史
9:10~10:30	地盤の基礎知識	鹿島建設(株)	坂梨 利男
10:40~12:00	土留め工の計画と施工	清水建設(株)	三木 浩
12:00~13:00	(昼食)		
13:00~14:00	国土交通省における i-Construction と BIM/CIM の取り組みについて	国土交通省	西上 康平
14:00~15:00	JR 東日本における鉄道構造物の ICT を活用した維持管理	東日本旅客鉄道(株)	井口 重信
15:20~16:20	建設コンサルタントの CIM の取り組みと考察	(株)建設技術研究所	藤田 玲
16:20~17:20	建設機械の自動化を核とした高効率施工システム	鹿島建設(株)	三浦 悟
17:20~17:30	本講習会の総括	継続教育小委員会	岩崎 英治